



発行者
諫早市立諫早中学校
校長 副校長



学校銘「つばく（そったく）」

ひな鳥がかえるとき、ひな鳥は殻の中から、親鳥は外から殻をつつき、殻が割れ、一つの大切な生命が誕生します。この姿と同じように、生徒と教師が共に学び合う「共学」こそ、教育の姿勢であり目的です。本校ではこれを銘と定めています。

○ 学校評価の結果について

令和6年度の学校評価の結果についてお知らせします。

1 生徒のアンケート結果（1・2学期比較）

	評価項目	2学期			1学期		
		4・3の計	平均	評価	4・3の計	平均	評価
1	魅力ある学校づくりを行っている	92	3.4	A	93%	3.4	A
2	活気があり、明るく楽しい雰囲気である	87	3.2	A	88	3.3	A
3	授業中に主体的に学習に取り組んでいる	89	3.2	A	88	3.2	A
4	自分の考え・意見を人前で話すことができる	66	2.9	B	62	2.8	C
5	授業中、話し合ったり、学び合う場面が好きである	93	3.5	A	92	3.4	A
6	家庭学習の習慣が身についている	80	3.1	B	77	3.1	B
7	正しい言葉遣いや挨拶など、基本的な生活習慣ができている	92	3.4	A	93	3.3	A
8	思いやりのある心が育っている	96	3.6	A	97	3.5	A
9	生徒の悩みや相談について、親身に対応している	80	3.2	A	79	3.1	B
10	いじめ防止にしっかり取り組んでいる	87	3.3	A	87	3.2	A
11	将来の進路・職業について、しっかりと考えている	79	3.1	B	75	3.0	B
12	学校行事などに目標をもってねばり強く取り組んでいる	89	3.3	A	89	3.3	A
13	病気やけがの予防に努め、健康に関する教育を行っている	91	3.4	A	89	3.4	A
14	生徒の体力向上に努めている（部活動を含む）	90	3.4	A	87	3.4	A
15	学校は、食に関する教育を行っている（給食指導も含む）	94	3.6	A	92	3.6	A
16	学校は、掃除が行き届きいつもきれいだである	90	3.4	A	87	3.3	A
17	学校は、危険箇所などの配慮がなされ安全である	96	3.6	A	95	3.5	A
18	SDGSや、ふるさとの将来について考えることができている	73	2.9	B	76	3.0	B
19	地域の行事やボランティア活動にすすんで協力している	45	2.4	D	46	2.4	D
20	諫中で、充実感や達成感を味わうことができている	87	3.2	A	88	3.3	A

※4・3の数値の単位は「%」です。
平均は、4段階評価の全体の平均の数値です。

生徒からの回答では、1学期から2学期にかけて向上している項目がいくつもあることがわかります。生徒たちが、自分自身を向上させようと努力したことが伝わります。また、結果を細かく見ると、2・3・5・7・8・9・11・12・13・15・16・17の項目においては、4と回答した人が平均で10%増えています。生徒たちが自信を持つことができていると感じています。

また、1.諫早中は魅力があるかで、4と回答した人は1・2学期とも約半数で、12.学校行事に目標を持ち粘り強く取り組んでいるか、でも2学期は47%の生徒が4と回答しています。今後も、多くの生徒がやりがいを持って諸活動に取り組める諫早中でありたいと考えています。

しかしながら、その一方で、各項目で2、1と回答した人が少なからずいることも考えないといけない課題です。諫早中学校は、全校生徒が約800人ですので、1%の回答でも8人、10%であれば80人となります。3.主体的な学習、の質問に11%の生徒が2・1と答えています。80人以上の生徒が、学習が上手くないこととなります。他の項目でも同様です。同じ諫早中で活動する仲間なので、互いに声を掛け、支え合いながら、学習活動や諸行事に取り組んでほしいと願っています。

また、4.自分の考え・意見を人前で話すことができる、では他の項目と比べて低くなっています。これからの変化の大きな社会を生き抜くためには、自分の考えをしっかりと相手に伝える力が重要です。友人とのトラブルでも、自分の気持ちを正しく伝えることは、解決に向けて解説なことです。この点は、教職員だけでなく、生徒・保護者の皆さまで、共通の課題としていきたいと思ひます。

2 保護者・生徒のアンケート結果（2学期比較）

上の「1」は、生徒のアンケート結果の1学期から2学期への変容を掲載しました。保護者の皆さまのアンケート結果は、1・2学期で大きな変化が見られませんでしたので、生徒のアンケート結果との比較を掲載します。

	評価項目	保護者			生徒		
		4・3の計	平均	評価	4・3の計	平均	評価
1	魅力ある学校づくりを行っている	86	3.0	A	92	3.4	A
2	活気があり、明るく楽しい雰囲気である	85	3.1	A	87	3.2	A
3	主体的に学習に取り組んでいる	74	2.9	B	89	3.2	A
4	自分の考え・意見を人前で話すことができる	66	2.8	B	66	2.9	B
5	授業中、話し合ったり、学び合う場面が好きである	79	3.1	B	93	3.5	A
6	家庭学習の習慣が身についている	59	2.7	C	80	3.1	B
7	正しい言葉遣いや挨拶など、基本的な生活習慣ができています	85	3.1	A	92	3.4	A
8	思いやりのある心が育っている	96	3.3	A	96	3.6	A
9	生徒の悩みや相談について、親身に対応している	75	2.9	B	80	3.2	A
10	いじめ防止にしっかり取り組んでいる	83	3.0	A	87	3.3	A
11	将来の進路や職業について、考えることができています	77	3.0	B	79	3.1	B
12	学校行事などに目標をもってねばり強く取り組んでいる	89	3.1	A	89	3.3	A
13	病気やけがの予防に努め、健康に関する教育を行っている	83	3.1	A	91	3.4	A
14	生徒の体力向上に努めている（部活動を含む）	86	3.1	A	90	3.4	A
15	学校は、食に関する教育を行っている（給食指導も含む）	83	3.1	A	94	3.6	A
16	学校は、掃除が行き届きいつもきれいであります	79	3.0	B	90	3.4	A
17	学校は、危険箇所などの配慮がなされ安全であります	86	3.1	A	96	3.6	A
18	学校は、HPや通信等で教育活動の様子を知らせています	93	3.3	A			
19	学校はPTAや地域行事に協力的である	89	3.2	A			
20	学校は、保護者が授業を参観する場を適切に設けている	95	3.4	A			

※4・3の数値の単位は「%」です。
平均は、4段階評価の全体の平均の数値です。

保護者と生徒のアンケート結果を比較すると、概ね一致している項目と、意識のズレがある項目があることがわかります。1・2の項目では、両者の回答にずれがないことがわかります。一方、6.家庭学習の習慣については、生徒側は80%ができていますと感じているのに、保護者側は、最も低い数値（59%）になっています。家庭学習の習慣は、生徒一人一人の学力向上の大きな原動力となります。また、これからの変化の大きな時代、「生涯にわたって学び続ける力」を身に付けることが重要だと言われています。学校と家庭が協力して、学びに向かう姿勢を育てていきたいと考えています。

また、4.自分の考え・意見を人前で話すことができる、11.将来の進路や職業について、考えることができています、の2項目は、保護者・生徒共に低い評価となっています。自分の考えを人前で表現できる力は、これからの変化の大きな時代で子どもたちに身に付けてほしい力の一つです。授業や様々な場面で育成に努めていきたいと考えています。また、将来の進路や職業については、現在の変化の大きな時代、新しい職業もどんどん生まれてきています。自らの道を切りひらき創造できる人になってほしいと願っています。「YouTuber」などは、今の大人が子どもの頃には想像もできなかった職業だと思いません。

学校評価アンケートの結果及び皆様から頂いた貴重な「ご意見」を今後の学校運営に生かしてまいりたいと思います。ご協力ありがとうございました。

学校評価の公開にあたり、学校便り17号・18号を、HP用に再編集してものを掲載しています。

